

地域JRAT養成支援モデル事業

担当省庁：厚生労働省
事業費：15百万円
対象事業：先進自治体事業

事業目的

- 地域JRATは、災害時において都道府県からの要請を受け、被災地での居住環境の整備や避難所等での高齢者等のADL低下予防（生活不活発病の予防）に係る支援等を行い、災害時には、都道府県と地域JRATとの間で密に連携をとりつつ、地域JRATが主体的に活動することが求められます。
- 災害時における円滑な対応に向けて、都道府県と地域JRATの間で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」を締結した上で、全国的に都道府県と地域JRATの連携体制を構築することが求められており、都道府県と地域JRATの連携が開始されている都道府県に対して、補助金を交付することで、研修の実施や災害時にも活用できる隊員の登録を進め、地域JRATの平時からの活動を支援します。
- こうした活動を通じ、都道府県と地域JRATの連携体制を整備するためのモデルを構築することを目的とします。

事業概要

- 防災基本計画において、都道府県の役割として「都道府県は、平時から保健医療福祉活動チームと合同での訓練や研修、会議の開催等により、災害時の保健医療福祉活動に係る関係者間の連携体制の構築や共通認識の醸成に努めるものとする。」と明示されています。
- 地域JRATと「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」を締結している都道府県において、都道府県と地域JRATとの間で連携して以下の事業を実施します。
 - 1 災害発生時に備えた協議会の設置
都道府県医師会等の地域の関係者の参加も求める
 - 2 都道府県と地域JRATによる研修や訓練等
定期的な研修や訓練の実施
研修・訓練修了者の登録

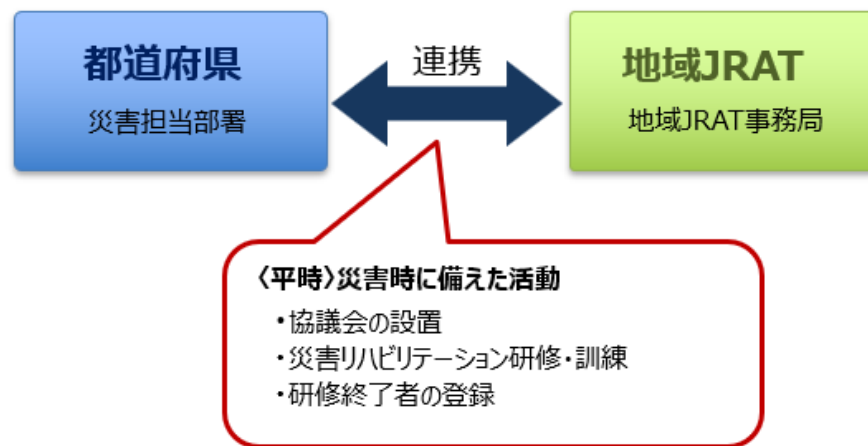
<事業スキーム>

- 実施主体：都道府県
- 補助率 10/10



実施イメージ

<本事業で実施する取組>



<本事業により得られる効果>

- 本事業で構築したモデルを横展開し、他の地域における都道府県と地域JRATの連携体制の整備につなげていきます。